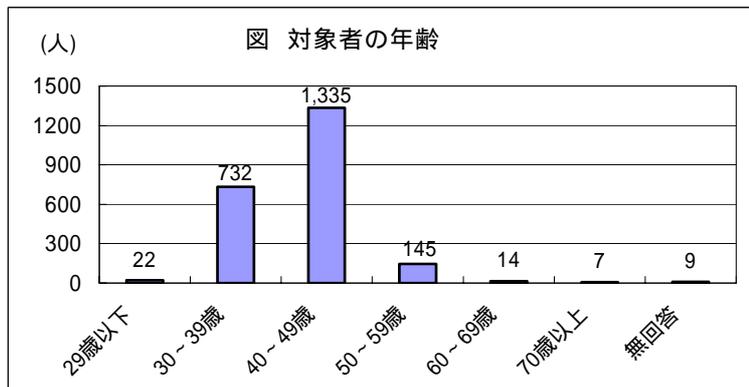


## 5、保護者 調査結果

### (1) 対象者の年齢

	人数	%
29歳以下	22	1.0
30～39歳	732	32.3
40～49歳	1,335	59.0
50～59歳	145	6.4
60～69歳	14	0.6
70歳以上	7	0.3
無回答	9	0.4
合計	2,264	100.0

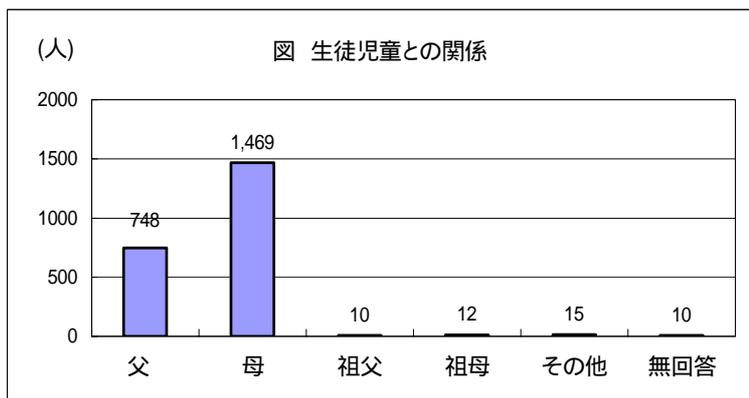


(回答者 2,264人)

### (2) 対象者の児童生徒との関係

父親 748 人(33.0%)、母親 1,469 人(64.9%)と、約 98%は両親からの回答であった。

	人数	%
父	748	33.0
母	1,469	64.9
祖父	10	0.4
祖母	12	0.5
その他	15	0.7
無回答	10	0.4

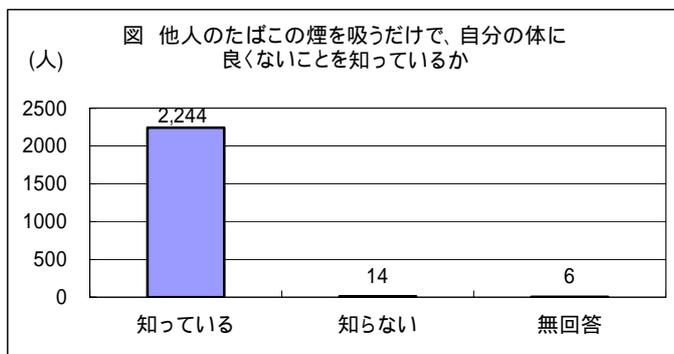


(回答者 2,264人)

### (3) 他人のたばこの煙を吸うだけで、自分の体に良くないことを知っているか

2,244 人(99.1%)と多くの保護者が「知っている」と回答している。

	人数	%
知っている	2,244	99.1
知らない	14	0.6
無回答	6	0.3
合計	2,264	100.0

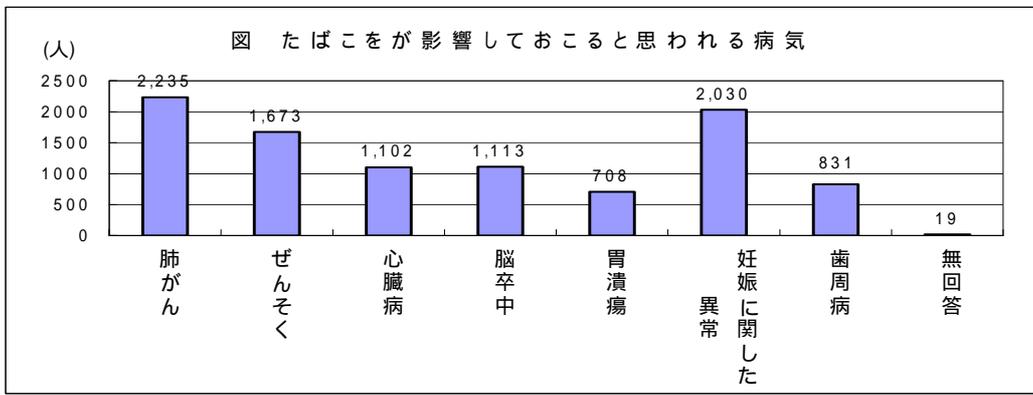


(回答者 2,264人)

### (4) たばこが影響して起こるとされる病気 (複数回答)

「肺がん」については2,235人(98.7%)で、ほとんどの人から回答があった。次いで「妊娠に関する異常」は2,030人(89.7%)、「ぜんそく」1,673人(73.9%)、「脳卒中」1,113人(49.2%)、「心臓病」1,102人(48.7%)であった。

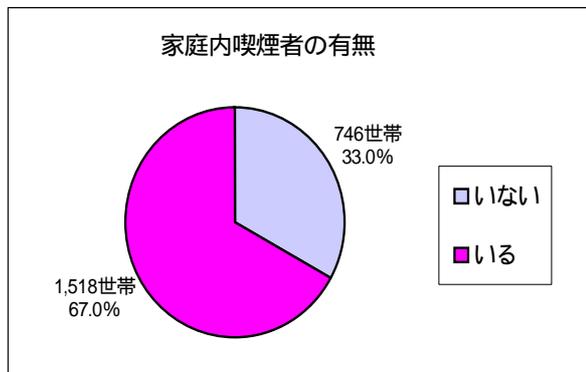
	人数	%
肺がん	2,235	98.7
ぜんそく	1,673	73.9
心臓病	1,102	48.7
脳卒中	1,113	49.2
胃潰瘍	708	31.3
妊娠に関する異常	2,030	89.7
歯周病	831	36.7
無回答	19	0.8



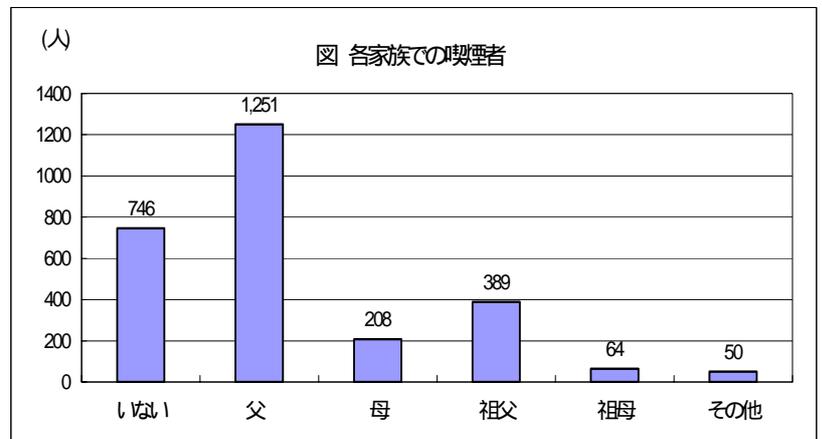
(回答者 2,264人)

(5) 各家庭での喫煙者 (喫煙者が複数の場合は複数回答)

1,518世帯(67%)の家庭に喫煙者がいる。喫煙者は父親が最も多く、次いで祖父となっており、家庭の中で男性が多く喫煙していることがわかる。



(回答者 2,264人)



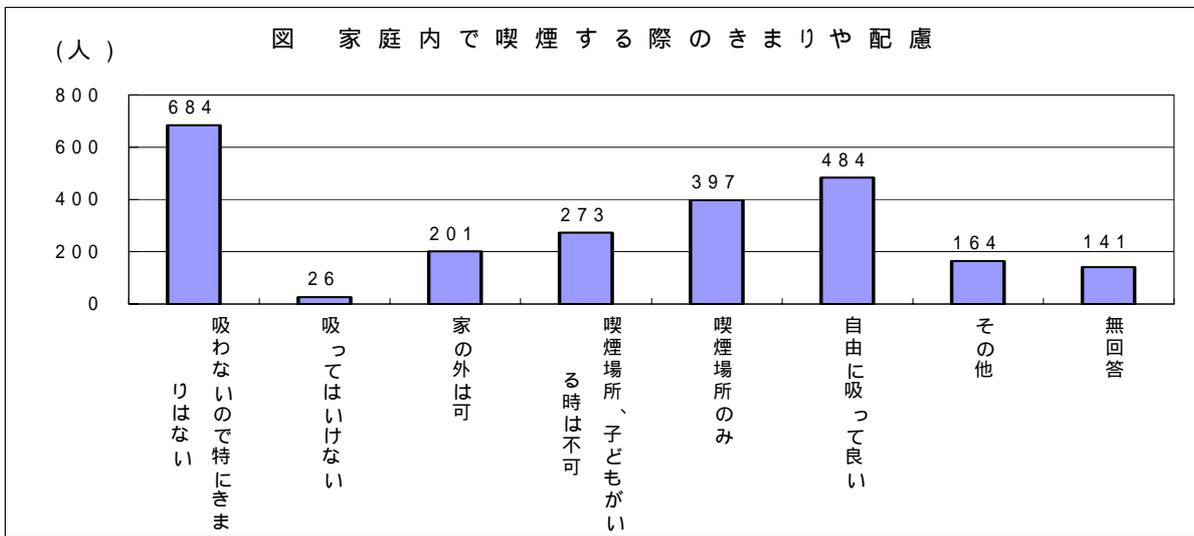
(その他の内訳)

おじ	2	叔父	3
義兄	1	親戚	1
兄	32	曾祖	2
兄姉	1	息子	1
兄達	1	長女	1
兄弟	1	伯父	1
姉	1	本人	1
子	1	合計	50

(6) 家庭内で喫煙する際のきまりや配慮 (複数回答)

684人(30.2%)が家庭内では「吸わない」、26人(1.1%)は「吸ってはいけない」と回答しているが、484人(21.4%)の人は「自由に吸ってよい」と回答している。その他、「家の外は可」「喫煙場所のみ」「喫煙場所でのみ吸ってよいが、子どもがいるときは不可」と、喫煙場所をきめている家庭が多く見られている。

	人数	%
吸わないので特にきまりはない	684	30.2
吸ってはいけない	26	1
家の外は可	201	8
喫煙場所、子どもがいる時は不可	273	
喫煙場所のみ	397	17
自由に吸って良い	484	21
その他	164	7.2
無回答	141	6.2

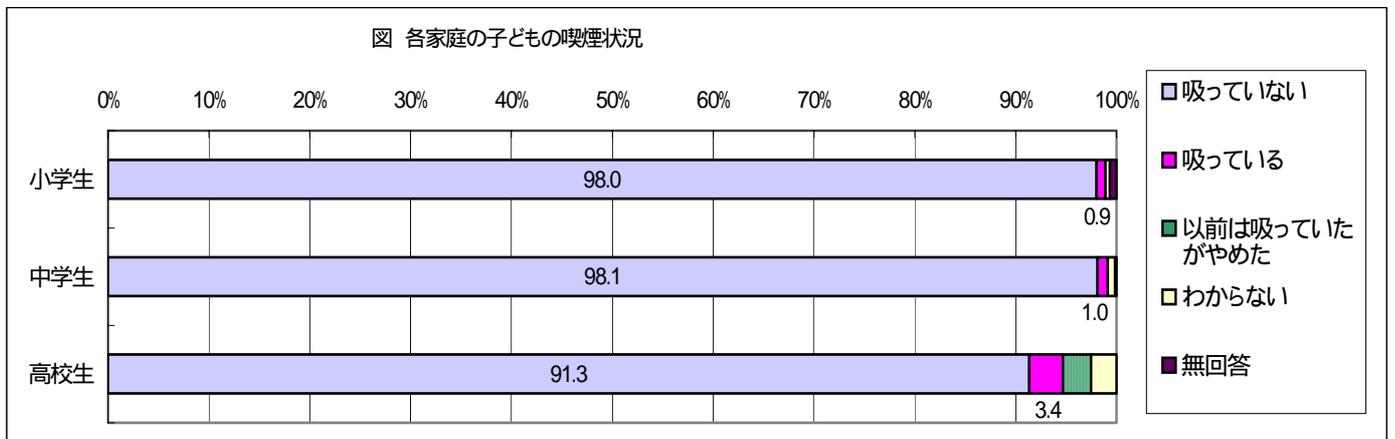


(回答者 2,264人)

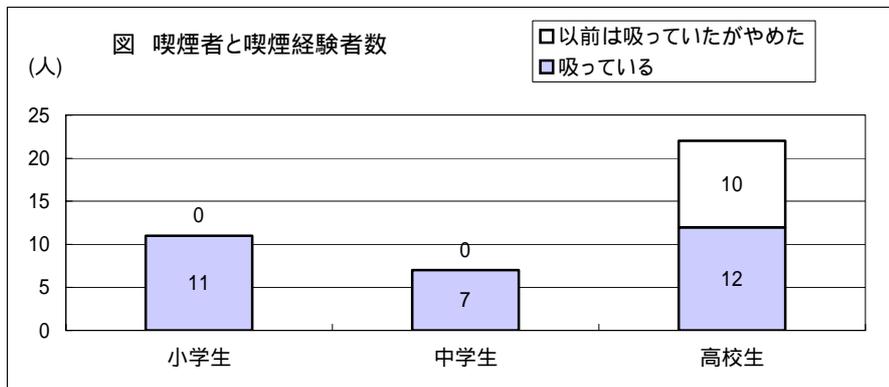
### (7) 各家庭の子どもの喫煙状況

小・中学生では「吸っていない」が98.0%以上を占めているのに対し、高校生では91.3%と小中学生に比べて低率になっている。保護者が把握している現在の喫煙者は小学生11人、中学生7人、高校生12人であった。

	吸っていない		吸っている		以前吸っていたがやめた		わからない		無回答		合計
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
小学生	1,190	98.0	11	0.9	0	0.0	5	0.4	9	0.7	1,215
中学生	678	98.1	7	1.0	0	0.0	5	0.7	1	0.1	691
高校生	327	91.3	12	3.4	10	2.8	9	2.5	0	0.0	358
合計	2,195	97.0	30	1.3	10	0.4	19	0.8	10	0.4	2,264



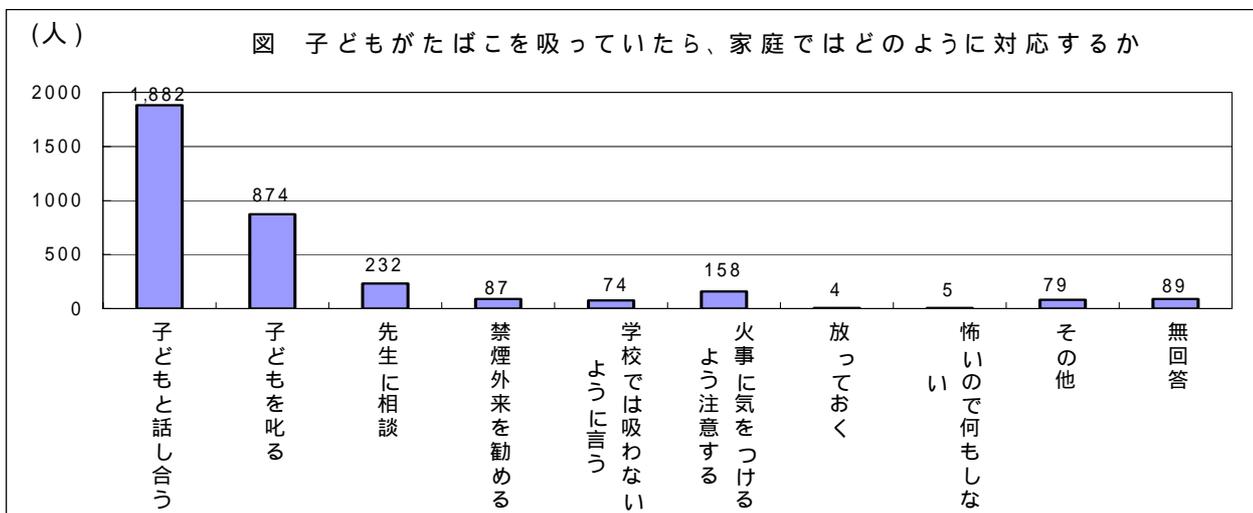
(回答者 2,264人)



(8) 子どもがたばこを吸っていたら、家庭ではどのように対応するか (複数回答)

一番多いのは「子どもと話し合う」で1,822人(83.1%)が回答している。次に「子どもを叱る」874人(38.6%)、「先生に相談」232人(10.2%)であった。

	人数	%
子どもと話し合う	1,822	83.1
子どもを叱る	874	38.6
先生に相談	232	10.2
禁煙外来を勧める	87	3.8
学校では吸わないように言う	74	3.3
火事に気をつけるよう注意する	158	7.0
放っておく	4	0.2
怖いので何もしない	5	0.2
その他	79	3.5
無回答	89	3.9

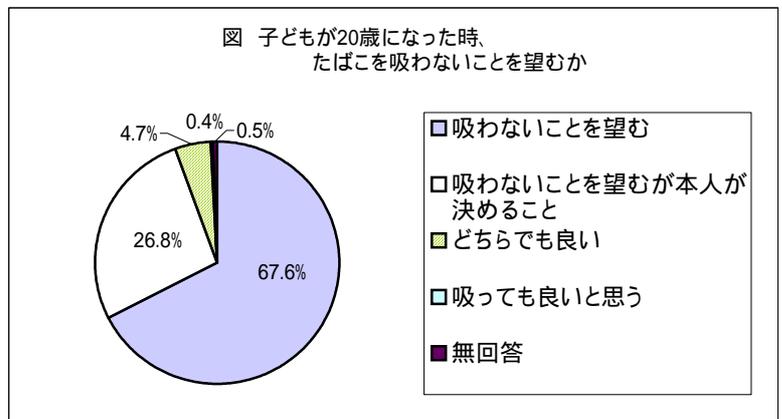


(回答者 2,264人)

(9) 子どもが20歳になった時、たばこを吸わないことを望むか

「吸わないことを望む」が1,530人(67.6%)であった。「吸わないことを望むが本人が決めること」607人(26.8%)を合わせると、2,137人(94.4%)の人は子どもの喫煙を望んでいないことがわかる。

	人数	%
吸わないことを望む	1,530	67.6
吸わないことを望むが本人が決めること	607	26.8
どちらでも良い	106	4.7
吸っても良いと思う	9	0.4
無回答	12	0.5
合計	2,264	100.0

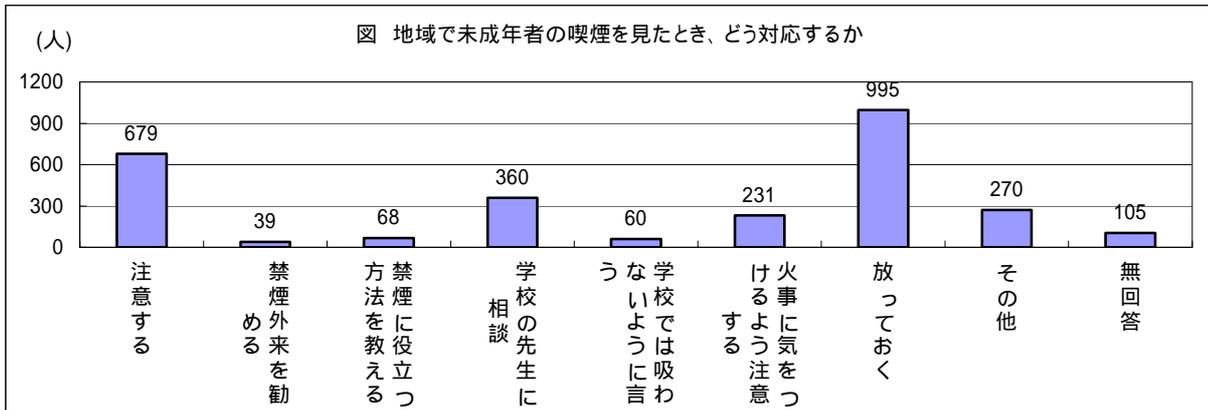


(回答者 2,264人)

(10) 地域で未成年者の喫煙を見たとき、どのように対応するか (複数回答)

「放っておく」が一番多く 995 人(43.9%)が回答している。「注意する」は 679 人(30.0%)、「学校の先生に相談」は 360 人(15.9%)であった。

	人数	%
注意する	679	30.0
禁煙外来を勧める	39	1.7
禁煙に役立つ方法を教える	68	3.0
学校の先生に相談	360	15.9
学校では吸わないように言う	60	2.7
火事に気をつけるよう注意する	231	10.2
放っておく	995	43.9
その他	270	11.9
無回答	105	4.6

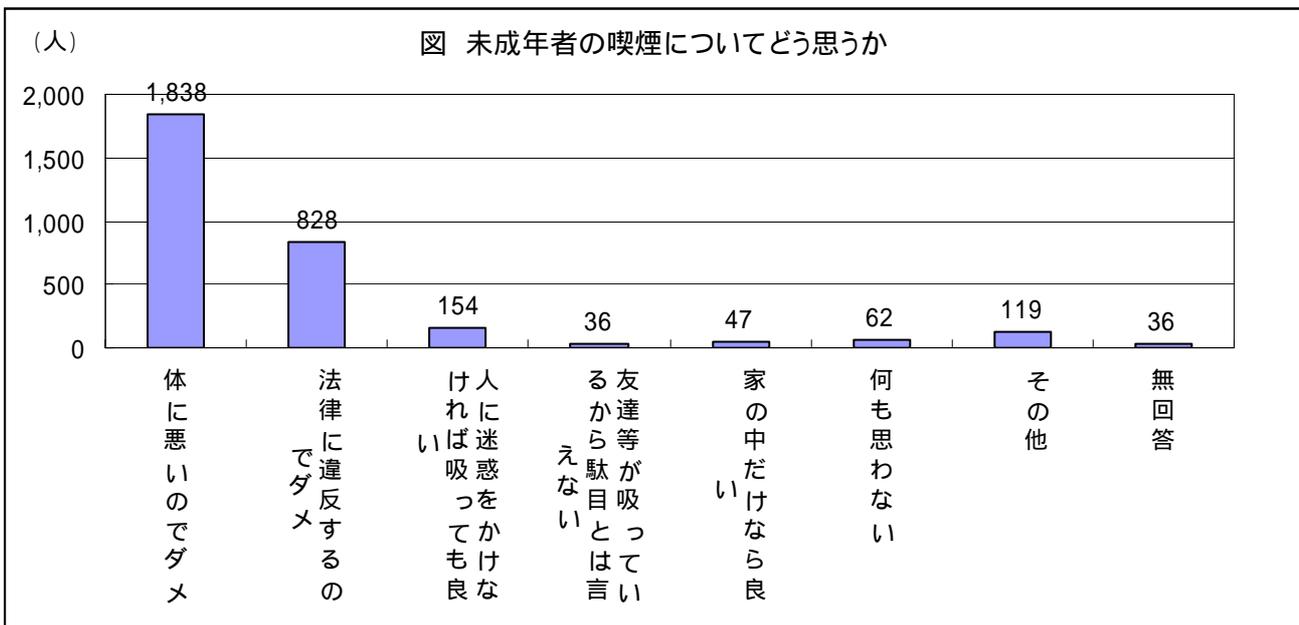


(回答者 2,264 人)

(11) 未成年者の喫煙についてどう思うか (複数回答)

1,838 人(81.2%)と多くの方が「体に悪いのでダメ」と回答している。次に多くみられたのは「法律に違反するのでダメ」で、828 人(36.6%)の回答があった。

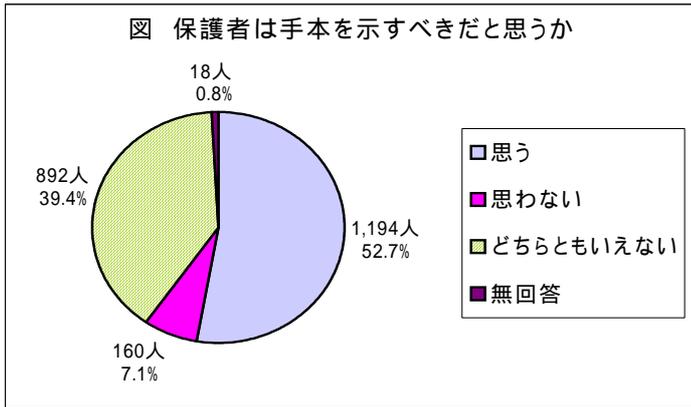
	人数	%
体に悪いのでダメ	1,838	81.2
法律に違反するのでダメ	828	36.6
人に迷惑をかけなければ吸っても良い	154	6.8
友達等が吸っているから駄目とは言えない	36	1.6
家の中だけなら良い	47	2.1
何も思わない	62	2.7
その他	119	5.3
無回答	36	1.6



(回答者 2,264 人)

(12) 保護者はたばこを吸わない手本を示すべきだと思うか

1,194人(52.7%)と過半数の保護者が、たばこを吸わない手本を示すべきだと思っている。

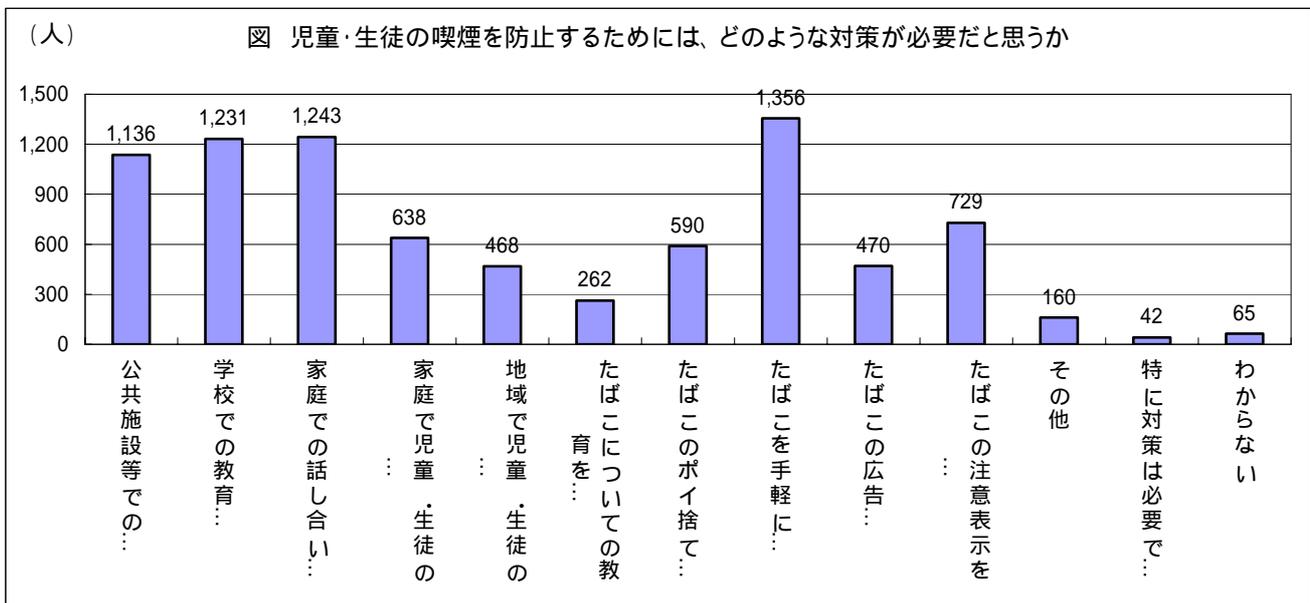


(回答者 2,264人)

(13) 児童・生徒の喫煙を防止するためにはどのような対策が必要だと思うか(複数回答)

「たばこを手軽に買えないようにする」が1,356人(59.9%)、「家庭での話し合いの機会を増やす」が1,243人(54.9%)、「学校での教育の機会を増やす」が1,231人(54.4%)、「公共施設等での禁煙を徹底する」が1,136人(50.2%)と、いずれも過半数の回答があった。

	人数	%
公共施設等での禁煙を徹底する	1,136	50.2
学校での教育の機会を増やす	1,231	54.4
家庭での話し合いの機会を増やす	1,243	54.9
家庭で児童・生徒の前ではたばこを吸わない	638	28.2
地域で児童・生徒の前ではたばこを吸わない	468	20.7
たばこについての教育を公民館等で実施する	262	11.6
たばこのポイ捨て禁止等喫煙マナーの向上について啓発する	590	26.1
たばこを手軽に買えないようにする	1,356	59.9
たばこの広告を減らす	470	20.8
たばこの注意表示をもっと具体的に	729	32.2
その他	160	7.1
特に対策は必要でない	42	1.9
わからない	65	2.9



(回答者 2,264人)